

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成16年10月21日(2004.10.21)

【公表番号】特表2000-500650(P2000-500650A)

【公表日】平成12年1月25日(2000.1.25)

【出願番号】特願平9-518329

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

C 0 7 K 9/00

C 0 7 K 14/47

C 1 2 Q 1/68

G 0 1 N 33/53

G 0 1 N 33/569

G 0 1 N 33/574

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 9/00

C 0 7 K 14/47

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/569 L

G 0 1 N 33/574 C

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月30日(2003.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成15年10月30日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第518329号

2. 補正をする者

名称 ホーランド, ジェームス, エフ.

3. 代理人

住所 東京都港区虎ノ門1丁目17番1号

虎ノ門5森ビル3階

電話番号 03 (3503) 8637

氏名 (9109) 弁理士 平木 祐輔



4. 補正対象書類名

~~請求の範囲~~ ~~明細書~~ 請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



方式
方審査



(別紙)

請求の範囲

1. (i) マウス乳癌ウイルスの *env* 遺伝子にハイブリダイズし、(ii) 異なるヒト被験者の乳癌組織から調製されたDNAサンプルの少なくとも 38 パーセントに存在し、(iii) 異なるヒト被験者からの乳癌組織以外の組織から調製されたDNAサンプルの 7 パーセント未満にハイブリダイズする核酸分子の存在を検出するために使用できるオリゴヌクレオチドプライマーを含む組成物。
2. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 CCTCACTGCCAGATC (配列番号 1) を含む請求項 1 に記載の組成物。
3. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 GGAATTCCTCACTGCCAGATC (配列番号 2) を含む請求項 1 に記載の組成物。
4. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 CCTCACTGCCAGATCGCCT (配列番号 3) を含む請求項 1 に記載の組成物。
5. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 TACATCTGCCTGTGTTAC (配列番号 4) を含む請求項 1 に記載の組成物。
6. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 CCTACATCTGCCTGTGTTAC (配列番号 5) を含む請求項 1 に記載の組成物。
7. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 CCGCCATACGTGCTG (配列番号 6) を含む請求項 1 に記載の組成物。
8. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 ATCTGTGGCATACT (配列番号 7) を含む請求項 1 に記載の組成物。

9. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 GGAATTCATCTGTGGCATACT (配列番号 8) を含む請求項 1 に記載の組成物。
10. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが、
ATCTGTGGCATACTAAAGG (配列番号 9) 、
GAATCGCTTGGCTCG (配列番号 10) 、
CCAGATCGCCTTTAAGAAGG (配列番号 11) 、及び
TACAGGTAGCAGCACGTATG (配列番号 12)
からなる群から選択された配列を含む請求項 1 に記載の組成物。
11. (i) MMTV の遺伝子にハイブリダイズし、(ii) 異なるヒト被験者の乳癌組織から調製された DNA サンプルの少なくとも 20 パーセントに存在し、(iii) 異なるヒト被験者からの乳癌組織以外の組織から調製された DNA サンプルの 5 パーセント未満に存在する核酸分子によりコードされた、実質的に精製されたペプチド。
12. 請求項 11 に記載のペプチドに特異的に結合する抗体。
13. アミノ酸配列 LKRPGFQEHEMI (配列番号 13) を含む請求項 11 に記載のペプチド。
14. 請求項 13 に記載のペプチドに特異的に結合する抗体。
15. アミノ酸配列 GLPHLIDIEKRG (配列番号 14) を含む請求項 11 に記載のペプチド。
16. (i) マウス乳癌ウイルスの 3'LTR の *env* 遺伝子にハイブリダイズし、(ii) 異なるヒト被験者の乳癌組織から調製された DNA サンプルの少なくとも 20 パーセントに存在し、(iii) 異なるヒト被験者からの乳癌組織以外の組織か

ら調製されたDNAサンプルの 5 パーセント未満に存在する核酸分子によりコードされるペプチドの存在を検出することを含む、ヒト被験者由来の乳癌細胞を同定する方法。

17. アミノ酸配列 LKRPGFQHEMI (配列番号 13) を含むペプチドの存在を、該ペプチドに特異的な抗体の結合により検出する請求項 16 に記載の方法。
18. アミノ酸配列 GLPHLIDIEKRG (配列番号 14) を含むペプチドの存在を、該ペプチドに特異的な抗体の結合により検出する請求項 16 に記載の方法。
19. アミノ酸配列 TNCLDSSAYDTA (配列番号 15) を含むペプチドの存在を、該ペプチドに特異的な抗体の結合により検出する請求項 16 に記載の方法。
20. アミノ酸配列 DIGDEPWFDD (配列番号 16) を含むペプチドの存在を、該ペプチドに特異的な抗体の結合により検出する請求項 16 に記載の方法。
21. (i) マウス乳癌ウイルスの *env* 遺伝子及び 3'LTR からなる群から選択される配列を含む核酸にハイブリダイズし、(ii) 異なるヒト被験者の乳癌組織から調製されたDNAサンプルの相当なパーセンテージに存在し、(iii) 異なるヒト被験者からの乳癌組織以外の組織から調製されたDNAサンプルの 5 パーセント未満にハイブリダイズする核酸分子の存在を検出するのに使用し得るオリゴヌクレオチドプライマーを含む組成物。
22. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 CCAGATCGCCTTTAAGAAGG (配列番号 11) を含む請求項 1 に記載の組成物。
23. 前記オリゴヌクレオチドプライマーが配列 CGAACAGACACAAACACACG (配列番号 19) を含む請求項 1 に記載の組成物。